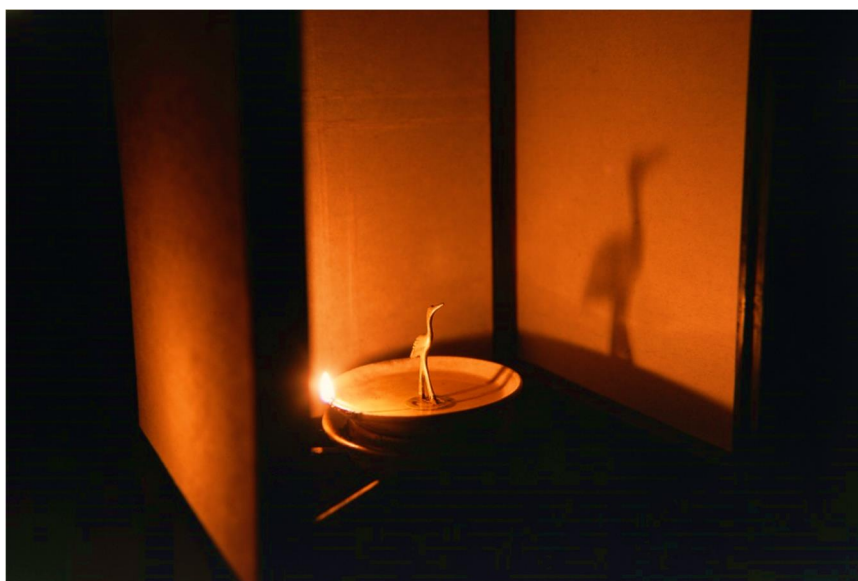


あつぎ郷土博物館NEWS12月号

企画展 「あかりの道具—火と光、人の文化史—」 あかりの楽しみ方いろいろ

あつぎ郷土博物館では、1月から企画展「あかりの道具」を開催いたします。昨年の「火の用心」の掛け軸に続き、市内在住の写真家・加藤芳明さんが、その半生をかけて収集した灯火具、関連資料の展示です。



人々は様々な道具によって火、光を駆使し、夜間

の行動を可能としてきました。新たに博物館資料となった700点のあかりの道具は、油、ろうそく、石油、ガス…、多様な火の材料、使い方もさまざまです。その移り変わりは、まさに生活史、文化史の一面を伝えるものです。

照度、色温度、あかりの感じ方はいろいろありますが、油の灯り、現在と比べ、照度的には暗かったと思いますが、工夫を凝らしていたのだと思われます。例えば、写真のように、灯芯を押さえる「搔き立て」の影を楽しんでいたことが、展示する34点の搔き立ての形、種類の多さからも伺われます。

それだけではありません。棒を結んだだけの「結び灯台^{とうだい}」は、火がむき出しです。紙に囲われ柔らかなあかりになる「行灯^{あんどん}」だけで46点、有明行灯^{ありあけ}、枕元^{まくらもと}、掛け灯台、多灯型灯台、切り灯台…、そのバリエーションは驚くばかりです。

どのような灯火具があるのか、どのような使い方をするのか。展示室でチェックしてみてください。博物館でお待ちしております

*展示会の詳細はこちら📄

●会 期：令和7年1月18日（土）から3月2日（日）まで

●入館料：無 料

●行事参加費：無料

*今回も楽しく興味深い講演会、体験講座、ギャラリートークを準備しました。



あつぎ郷土博物館 12月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
重要文化財がやって来る「ドグウ集まれ！」12月8日まで				
NEW 1	日	*特別展示関連講演会 ドグウ集まった！	望月昭秀（縄文 ZINE 編集部）	14:00 ～16:00
NEW 8	日	土偶展 ギャラリートーク③ 参加自由	文化財保護係 担当職員	14:00 ～15:00
12	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	14:00 ～15:00
NEW 15	日	ワークショップ 浮世絵カレンダー作り 先着 20 人	当館学芸員	14:00 ～15:00
16	月	臨時休館 館内燻蒸のため 12月21日(土)まで		
NEW 22	日	ワークショップ 浮世絵カレンダー作り 先着 20 人	当館学芸員	14:00 ～15:00
26	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	14:00 ～15:00
*12月29日から1月3日まで 年末年始休館				

⇒ *の展示関連講座は、事前申込制です。電話（*博物館 225-2515）、または市講座予約システムからお申込みください。

収蔵資料紹介

●寄贈資料 愛甲のオケーリンサン

郷土博物館の北側の壁際、臨時駐車場入口に、石祠、五輪塔、宝篋印塔があるのをご存知でしょうか。特に解説板があるわけではないので、何だろうと思った方もいらっしゃると思います。新しく仲間入りした五輪塔はオケーリンサンと呼ばれ、服部氏一族の祖先と伝えています。『厚木市史 中世資料編』（816頁）によれば、室町期の宝篋印塔かえりはんざ反花座くわらうりんにのっており、やや大きな水輪とともに別のもの。空風輪は一石で、最上部の空輪は、宝珠型、火輪は軒せに反り、四隅を斜線で切るのが室町期の五輪塔の特徴だといいます。石造物の詳細が分かる貴重な信仰資料です。



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始（12/29～1/3）
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後3時まで（入館は午後2時30分まで）
休 館 日 月曜日と火曜日（祝日の場合は翌平日）12/25～1/3



（申込み・問合せ） **あつぎ郷土博物館**
〒243-0206 厚木市下川入 1 3 6 6 - 4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005